



◆ 研究者紹介 ～ 山内 靖雄 先生 ～

Kernelで論文を公開されている研究者を、通信でも取り上げてご紹介しています。今回は、植物が厳しい環境でも強くなる方法について研究され、最近 2 本の論文をオープンアクセスジャーナルで公表された農学研究科の山内靖雄先生です。

 山内靖雄先生インタビュー

先生にはまず、オープンアクセスについて詳しくお話を伺いました。論文へのアクセス層の拡大等の利点の一方、高額な APC¹ や質の保証等の課題も実感されている様子でした。

またご研究についてのお話は大変興味深く、英語の論文タイトルを見た時には遠い存在に感じた内容が、お話が進むうちにとっても身近なものになってきました。

山内先生は「植物と環境」をテーマに実用化のしやすさを重視し、遺伝子組み換え以外で植物が環境に強くなる方法を研究されているそうです。

今回詳しくお聞きしたのは、新聞でも報道された、植物を高温に強くする方法についてです。先生はご研究により、植物の高温への耐性を高める鍵となる物質が、植物が自ら体内に生成する「ヘキセナール」であると特定されました。それを人工的に合成・投与することで真夏のハウス栽培等での高温障害を防ぐという実用化の試みもなされています。

今後のご研究の展望や、実は「ヘキセナール」に相当する物質が人間にもある(!)等、興味深いお話の続きはぜひ全文をご覧ください。オープンアクセスについても、研究者目線の鋭いご意見を知ることができます。



インタビューの詳細はこちらから

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/interview20150303.html>

¹ APC(Article Processing Charge) : オープンアクセスジャーナルで論文を発表する際に著者が出版者に支払う論文処理費用

図書館を取り巻く環境が近年大きく変化しています。その中でも、学術情報を日々利用・発信されている研究者のみなさまにぜひ知っていただきたいオープンアクセスについてあらためてご紹介いたします。



◆オープンアクセスとは何か？

オープンアクセス (OA) とは何でしょうか。今回、基礎を振り返ってみたいと思います。2001年にブダペストで研究者、出版関係者が中心となって国際会議が開催され、ブダペストオープンアクセスイニシャチブ (Budapest Open Access Initiative) と呼ばれる宣言が採択されました。オープンアクセスはこの宣言 (BOAI=ボアと通称されています) により定義されました。BOAIによると、『OAとは、インターネット上でプレプリントとポストプリントが障壁なしに無料で閲覧やダウンロード、2次利用等ができること』です。

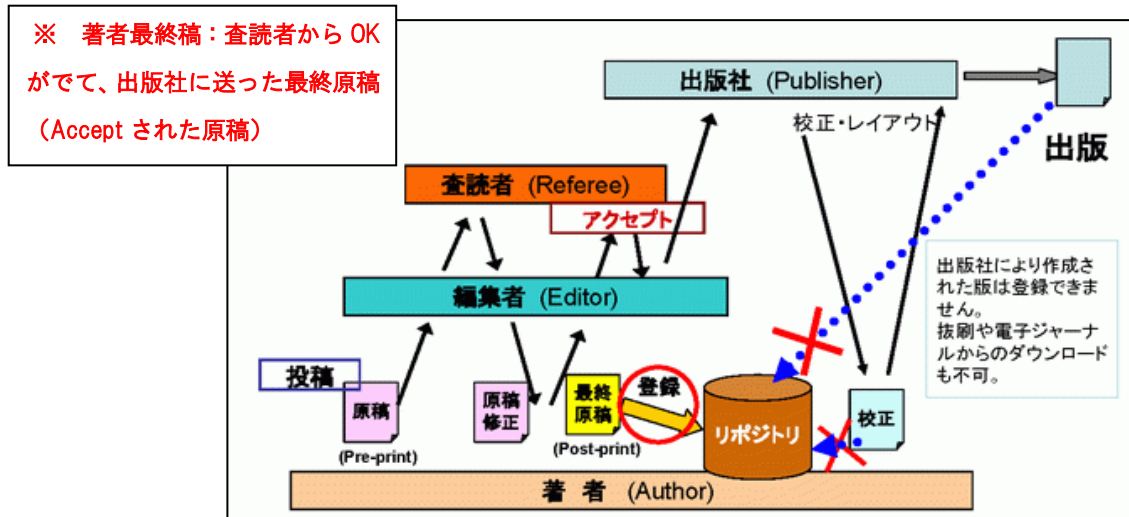
背景には、インターネットの普及により学術情報の流通のコストは低減するため、本来対価を求めない学術論文のアクセスは無料であるべきだ、という研究者の理念があります。

◆オープンアクセスの2つの道

BOAIは、OAを実現するためには、次の2つの道があると定義しています。

- (1) 機関リポジトリによって実現するグリーンの道 (Green Road=BOAI I)
- (2) オープンアクセスジャーナルによって実現するゴールドの道 (Gold Road=BOAI II)

(1)は論文をセルフアーカイブするもので、そのためには出版社や学協会の許諾が必要ですが、海外の大手出版者のほとんどが著者最終稿 (Author Final Manuscript) ※と呼ばれる形式での公開を許諾しています。これは、査読は全て終了してアクセプトされているが、出版社のロゴなどが入る前の研究者が自分のソフトで作成したバージョンの論文です。神戸大学のkernelが収集しているのは主にこの著者最終稿です。



(2)については今回のインタビューにもあるように、投稿者が支払いをするモデルで、著者が APC (Article Processing Charge) と呼ばれる論文処理料を支払います。APCは500ドルから3000ドルあたりが主な価格帯ですが、中には6000ドルの雑誌もあります。

◆オープンアクセスをめぐる政策

欧米では、グリーンの道により、政府の研究助成の成果としての論文はOAにすることが義務化されつつあります。最近では、イギリスや民間の非営利の助成団体を筆頭に(2)のAPCに対する財政支援を行うことも開始されています。さらに、論文だけでなく、論文の根拠となるデータに対してもOAにすることが求められるようになってきています。これをオープンデータと呼んでいます。日本でも内閣府がオープンデータの提言を出しています。欧米等の研究先進国では、電子ジャーナルや電子ブックのような学術情報の電子化が進む一方、政府や研究者のリーダーシップにより、オープンアクセス、オープンデータが政策的に進められ、研究成果の有効な活用を目的として流通のための選択肢が多様化し続けています。「オープン」をキーワードに、研究者が利用できる選択肢を増やすことが国際的な学術情報流通の大きな課題となっているのです。

(以下次号に続く)



◆ Kernel 登録について ◆

論文登録をご検討いただける研究者の方へ、あらためて論文登録方法等をご紹介します。

◆事前にご確認ください

- 公開について共著者の方の許諾が必要となります。
- 原則として、内外の学術機関により公表された研究成果を対象とします。

◆登録までの流れ

1. 原稿ファイル(※)および「登録申請及び公開許諾書」のご送付をお願いします。
2. 図書館にて出版社の許諾条件等をお調べし、公開可能であれば登録・公開します。
※原稿のファイル形式は何でもOKです。

登録方法詳細はこちら→<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/regist.html>

◆登録のメリット

- インターネットでの無料アクセスの利便性により、論文の参照頻度が増す可能性があります。(平成27年4月に一番閲覧された論文は約1,000回ダウンロードされています。)
- ご希望の方には、月に一度、前月のダウンロード数をメールにてお知らせすることが可能です。(但し、科研DBの研究者番号をお持ちの方に限ります。)

ご興味のある方、登録を検討されている方、まずはお気軽にお問い合わせください!

◆ Kernel ニュース ◆

🍷 APCがディスカウントされます。

*前号でもご紹介しましたが、シュプリンガー・ジャパン社より神戸大学に対し、APCが1割引になるクーポンコードが発行されています。論文投稿時にクーポンコードを入力すると採択時に1割引が適用されたAPCが請求されます。対象誌は約400誌で、有効期限は2015年12月末日（論文投稿時）までです。ご希望の方は、対象誌や申し込み方法等、下記からご確認ください。

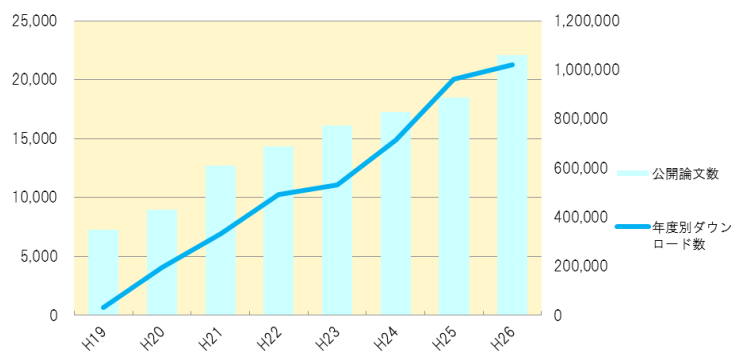
<http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/news/index.php?page=article&storyid=765>

*Science等を刊行している米国科学振興協会（AAAS）から2015年、新たにオープンアクセス誌 Science Advances が創刊され、サイトにてAAAS刊行誌購読機関構成員へのAPCディスカウントに関する案内がありました。神戸大学はScience Onlineを契約しておりAPCディスカウントの対象です。

詳細は下記からご確認ください。

<http://lib.kobe-u.ac.jp/www/modules/news/index.php?page=article&storyid=796>

◆ Kernel 統計（公開論文数と年度別ダウンロード数 推移） ◆



公開論文数と年度別ダウンロード数推移

公開論文数は 22,000 件を突破しました。公開論文数に比例してダウンロード数も年々増加しています。これからも研究成果の公開に努めてまいります。Kernel へのご登録、お待ちしております。

Kernel 通信 第 14 号 2015 年 5 月 15 日 発行

神戸大学附属図書館 電子図書館係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

社会科学系図書館 3 階

Email : repo@lib.kobe-u.ac.jp Tel : 078-803-7333 Fax : 078-803-7336

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/>